腎　生　検　クリニカルパス

氏名：

日付	検査前日	検査当日	検査後1日目	退院日
	／	／	／	／
観察		朝食前に体重の変化を観察します。 生検後、血尿が出たり尿の出が悪くないか観察します。 生検中・後に頭痛や吐き気がありましたら看護師に申し出てください。 生検部位の痛み、腰痛がありましたら看護師に申し出てください。	医師の診察後朝食前に体重の変化を観察します。 定期的に生検後の痛み、出血、血尿の有無を観察します。 体調の変化に気付いた時は医師や看護師へ申し出てください。	
安静	安静の必要はありません。	生検後、出血予防のために生検部の安静を保ちます。 生検後から上向きの状態で安静になります。 生検後5時間後からは自力で寝返りをうつことができます。	医師の診察後は、トイレ・洗面に歩くことはできますが、それ以外はなるべく安静にし、ベッドで休んでください。	安静は必要ありませんが2日間は自宅で過ごしてください。
食事	治療食（カロリー、塩分制限あり）になります。	朝から食事・水分はやめてください。 昼食・夕食は寝たままでも食べやすいように、主食がおにぎりになります。	朝食は寝たままでも食べやすいように主食はおにぎりになります。昼食からごはんになります。	治療食を食べることができます。
清潔	入浴できます。	検査後は入浴できません。 洗面はベッドの上で行います。	入浴はできません。 お湯を準備しますのでタオルで体を拭くことができます。	検査後3日目から入浴できます。
排泄	トイレまで歩行できます。 室内のトイレに蓄尿してください。 検査後、安静が必要になるためベッド上での排泄方法を看護師と相談・決定し場合によっては訓練をします。	生検後より尿器・便器を使ってベッドの上で行います。 希望時は検査開始前までに排尿用の管を入れることができます。 尿の出にくさがあれば申し出てください。 安静中に排尿ができない場合は一時的に排尿用の管を入れることがあります。	医師の診察後よりトイレまで歩行できます（蓄尿してください）。	トイレまで歩行できます。
診察処置		検査の30分前までに排尿を済ませ、病衣に着替えてベッドでお待ちください。		
検査	入院する前に採血、採尿、レントゲン、心電図検査があります。		採血・採尿検査があります。 朝6時～翌朝の6時まで尿を貯めていただきます。	蓄尿検査があります。
薬物療法	抗凝固剤に休薬が必要かどうかは、医師の指示に従います。 薬剤師から薬の説明があります。	検査直前から点滴を開始し、終了したら針を抜きます。	〈退院後の生活について〉 ・1ヶ月間は激しい運動、重たい荷物を持つことは避けてください。 ・食事内容に制限があります。栄養指導内容を参考にして食事を食べましょう。 ・退院後、38℃以上の熱が出るようなとき、症状や体調に変化がありましたら下記に連絡し受診をしてください。 〈緊急時の連絡先〉053-474-2222　院内代表	
説明	病棟オリエンテーションを行います。 医師が検査について説明します 医師の説明後同意書を提出してください。 検査方法と必要物品の説明・確認をします。	検査後の安静などについて説明します。		
指導		退院日までに栄養士が栄養指導を行います。		
目標	検査目的・方法が理解できる。	生検後の安静を守ることができる。生検後の出血がない。生検後苦痛が増強することなく退院することができる。		

※症状によっては予定通りにならないこともあります。

2003年7月作成（2020月11月改訂）パス委員会承認　聖隷浜松病院　B4病